

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五  
藤枝市藤枝四二一七  
大慶寺 大場正昭  
Tel 〇五四-六四一-二二二九  
Fax 〇五四-六四四-六二二六

本年度初盆経のお知らせ  
■7月初盆のお宅は6月中旬に  
■8月初盆のお宅は7月初旬に  
初盆経の日時を御施餓鬼案内に同封致します。また、日時でご希望がある場合は、お早めにご連絡頂ければできるだけ調整させて頂きます。

アシスト募金協力者（順不同・敬称略）  
服部誠 故森田博 杉山元一 田中つね  
関根薫 岡村光裕 村田吉伸 高野重雄  
故西形新市 竹内小弥太 神保昌志 西  
村幸三 神保松夫 松浦弘子 富山武志  
杉原繁司 海野武二 杉本勝臣 森内久  
夫 西郷利英 小林直樹  
■一食一円で寄せられた浄財は、日蓮宗  
静岡県中部宗務所を通じて、国内外支援  
のために使われています。  
今までに、ラオス学校建築、スリラン  
カ寺院復興支援、能登半島地震、中越沖  
地震、東日本大震災災害復興支援、派遣  
活動支援金として使われました。今後とも  
ご協力をお願い申し上げます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話羹をお届け致します。申込は寺まで。

## 「久遠の松」の実生 みしよう

「久遠の松」は高さが25m、枝振りが27mと言われている。しかし、私の知る範囲では、正確な高さを測った記憶がない。実際に測ってみると、南北の枝の長さは30mを超えている。そうになると、高さも増えているはずで、いまだ成長していることになる。しかし、やがていつかは枯れるであろうし、その前に松食い虫にやられるかもしれない。そこで、後継の松を育てることも必要かなと数年前から考えていた。

「久遠の松」の子を種から育てたいと思い、松ぼっくりを見つけては、種を取ろうとしたが、どれが種やらよく分からない。そして、松の実生を育てるのは大変だとも聞いている。

去年のこの時期、何気なく境内を見てみると、雑草に混じり、松らしき物があった。調べてみると、間違いなく松の実生である。これ幸いと10本程を別に移し替え、育つか



どうか様子を見てみた。それから1年。数本残り、なんとか育ちそうな気配。それではと、この1年、この時期を心待ちにしていた。

暖かくて雨が降った後に芽が出る、放っておけば踏まれて無くなってしまう。おかげで、今年は30本程発見して育てている。果て、この内何本が育つだろうか？こうなると更に夢が膨らむ。

目標は松ぼっくりから種を取って育てること。松ぼっくりを拾うのに丁度良い時期は秋であるという。そうなると、有り難いことにまた楽しみが一つ増えたことになる。

「本当に大きな松だね」と初めて見た人は驚く。実際、毎日見ている私でも、立派だなあと見入ってしまうこともしばしばである。自然の不思議な力を、言葉で語るでもなく、姿を通して私たちに教えてくれる。少しでも長くこの雄姿を残したいと思う。